

校 訓
「人間愛」・「創造」・「貢献」

本校の教育目標

- 1 人間を愛し、知性を養い、情操を陶冶して豊かな人格を備えた逞しい人間を育てる。
- 2 創造の精神を尊び、積極的に自己啓発に努める人間を育てる。
- 3 新しい時代・社会における自己の役割を認識し、郷土及び社会に貢献する人間を育てる。

生徒の実態、教師の願い
穏やかで健やかな高校生活を過ごしている。素直で心優しい生徒が多いが、高い志を持って自分の道を切り開こうとする意欲があって欲しい。

保護者や地域の願い
○意欲的に自分の人生を切り開いて行って欲しい。
○公衆道徳やルールを守るだけでなく、積極的に地域貢献をして欲しい。

「志教育」の目標

- 1 自身と社会との関わりを認識し広い視野に立脚した志を育成し、己の志を達成するための逞しさを持った生徒を育てる。
- 2 自身の志を追求するだけでなく仲間の志も尊重し、社会にも貢献する姿勢を身につさせる。

| 重点指導事項 | | |
|---|--|---|
| 人と「かかわる」 | よりよい生き方を「もとめる」 | 社会での役割を「はたす」 |
| ○各種講演会・進路行事を通して自己理解・他者理解を深めさせる。 ○学校行事・学年行事に積極的に関わらせることで、人間関係形成能力や社会性を養わせる。 | ○教育活動全体を通して学校で学び知識と職業や社会との関連を実感させる。 ○奉仕活動や進路行事を通して将来の自分の社会との関わりについて考えさせる。 | ○各種学校行事を通して、集団や組織の中で自分の果たすべき役割について考えさせる。 ○ホームルーム活動や部活動、ボランティアに積極的に取り組み、生徒の達成感・自己有用感を高めさせる。 |

| 各教育活動における取組の観点 | |
|----------------|---|
| 各教科 | 各教科の指導内容と社会や職業との関連を意識させる指導を行うとともに、学問としての現代的な課題を学ばせることで学ぶことの意義をつかませ、学習意欲の向上を図る。 |
| 道徳 | 自己を探究し、生涯にわたって主体的に自己実現を目指していく意欲を高める。公共の精神を尊び、郷土や地域社会の発展に寄与していく態度を養う。 |
| 総合的な学習の時間 | 互いを尊重し支え合いながら、自ら取り組むべき課題を見出して周囲と協力し解決に向けて行動できる生徒、自らの「高い志」を持ち主体的に追求し実現していくことができる生徒を育成する。具体的には傾聴力・発信力・創造力・想像力・分析力・自己肯定力・探究力・行動力を育成する。 |
| 特別活動 | 学校行事などを通して生徒会活動・ホームルーム活動を活発化させるだけでなく地域貢献にも取り組み、人間関係形成力を高め、集団の中で自分の果たすべき役割を考えさせる。 |
| その他 | 地域社会との連携を深め、自分の役割を積極的に果たすことで公共心を育て、将来の主権者としての自覚を高める。 |

| 各学年の取組内容 | |
|----------|--|
| 1年 | ①課題探究 ②社会探究（防災教育、保健講話） ③1年オリエンテーション ④キャリアセミナー 社会人及び学生講師との対話から学ぶ。 ⑤進路ガイダンス、進路講演会 |
| 2年 | ①課題研究 ②オープンキャンパス参加、インターンシップ 進路志望の意欲を喚起する。 ③進路ガイダンス、進路講演会 ④修学旅行 グループ研修の企画・立案・実施を通して、自主性・計画性を身に付ける。 ⑤マイナビ進学フェスタへの参加 外部団体との連携により、意識を高める。 |
| 3年 | ①進路探究 国公立大系、私大・短大文系、私大理系、看護・医療系、専門・各種学校系、公務員系、民間就職系の7つの進路別に課題探究やガイダンス、講座を実施する。 ②AO入試・推薦入試対策 ③進路講演会 |

家庭との連携

生徒を通して、志教育の取り組みを家庭にも連絡し生徒に家庭からも助言や励ましが得られるようにすることで、より深く考えられるようにする。

地域・企業との協働

名取市・大学等の教育機関・企業などと連携し、多様な教育活動を展開し生徒に様々な角度から自身の将来の有り様について考えさせたり、他者を思いやりながら、自分の能力を高めさせるような場を提供する。